

# News Letter

## 全国へ発信する鳥取県の絶品農産物PR活動！！

### ～地域産品魅力発信イベント「みんなではぐくむ♪にっぽんの食」を開催～

10月1日～2日の両日、イオンモール岡山1階未来スクエア（岡山県岡山市）において、付加価値の高い国産農林水産物・食品を消費者の皆様に紹介し、国産品への理解増進を図ることを目的に、農林水産省主催の地域産品魅力発信イベント「みんなではぐくむ♪にっぽんの食 中国・四国のおいしさ再発見」が開催されました。

このイベントでは、中国四国の各県が自慢の農産物等を販売するほか、中国四国農政局による地理的表示法（GI法）の登録産品紹介や国産野菜を使った簡単調理の食育講座などが行われました。



イベント会場の様子

鳥取県からは、県庁、JA鳥取県中央会、JA鳥取いなば及び中国四国農政局鳥取県拠点の職員がタッグを組んでイベントに参加。農産物等の展示販売ブースでは、県の代表農産物である「二十世紀梨」、県オリジナル品種の梨「新甘泉（しんかんせん）」、柿の

「輝太郎（きたろう）」、鳥取砂丘らっきょうを使ったらっきょう漬けと食味ランキング特Aのお米「きぬむすめ」を用意しました。

二十世紀梨と輝太郎、らっきょう漬けは試食を行い、特に二十世紀梨を試食したお客様からは「みずみずしくてとても美味しい」と好評で、用意した梨は二日間とも午前中に完売となりました。



県産農産物を試食する来場者の方々

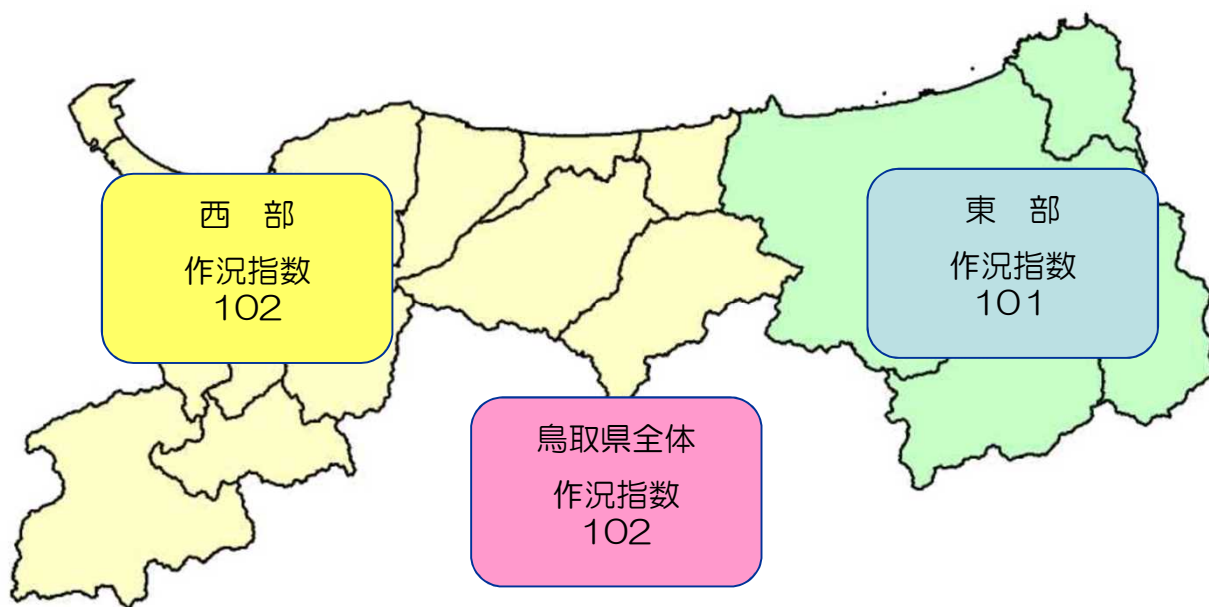
また、農産物等のPR活動においては、県が進める「ウェルカニキャンペーン」のキャラクター「カニ取団五輝星（かにとりだんいつきぼし）」が駆け付け、来場者と記念撮影をするなど、好評を博しました。中国四国農政局鳥取県拠点の職員も、梨とカニの被り物を着けての呼び込みや、試食品の提供など、積極的にPR活動を行いました。

## 平成28年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 を公表しました。

中国四国農政局は、平成28年9月30日、平成28年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（中国四国地域）について公表しました。

鳥取県の平成28年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は1万4,200haで、うち主食用作付見込面積は1万2,500haと見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）ベースの作況指数は102（やや良）で、うち東部が101（平年並み）、西部が102（やや良）と見込まれます。



詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。

[http://www.maff.go.jp/chushi/press/t\\_toukei/160930.html](http://www.maff.go.jp/chushi/press/t_toukei/160930.html)

## 10月は「木づかい推進月間」です。

林野庁は、木材を利用することの意義を広め、国産材利用を拡大していくための国民運動として、平成17年から「木づかい運動」が展開されています。特に10月は「木づかい推進月間」としており、今年も様々なイベントが全国各地で開催されます。

詳細な内容は、以下のURLでご確認ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/160930.html>